

(2) 1 単位時間を通した取組

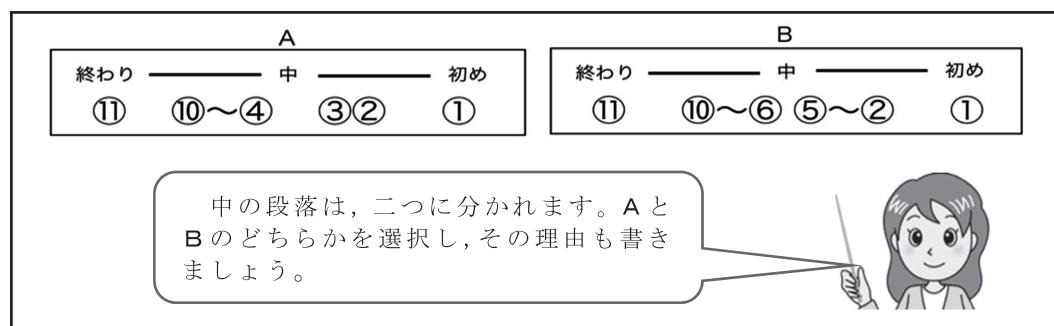
ア 考えの形成

自分の考えを形成させるために、下のような Which 型の課題提示をし、学級全ての子供が自分の考えをもつことができるようしている。

「A か？ B か？」のように、課題に対する考え方を子供が選択できるようにした課題の提示（Which 型の課題提示）

メリットは、課題に対する考え方を選択式にすることで、子供が理由まで明確にイメージできなくても、考え方をもつことができる。また、選択した考え方を基に、その理由を考えることができ、自分の考え方を明確にもつことにつながる。

提示の際には、「何を学ぶか」を明確にし、子供の考え方を想定することが大切である。例えば、文章構成の意図を捉えさせたいときには、構成例のパターン（資料 9）を提示し、A か B かを選択させた上で理由を考えさせる。ここでは、子供が思考しやすいように、まずは「考え方」を選択させ、次に「理由」を記入することができるよう構成したワークシート（資料 10）を作成して用いている。



【資料 9 構成例のパターン】

**B**

おわり (8,7)	中 (6,5,4,3,2)	はじめ (1)
おわり (8)	中 (7,6,5,4,3,2)	はじめ (1)

選択する欄

理由を記入する欄

**A**

おわり (8,7)	中 (6,5,4,3,2)	はじめ (1)
おわり (8)	中 (7)	はじめ (1)

名前

↑

筆者の考え方や、考え方を表現するにはどうしたらいいか、筆者はどのように構成して、筆者を進めていくだらうか、中では筆者はどのように構成して、筆者を進めていくだらうか。

生き物は円柱形

筆者の考え方や、考え方を表現するにはどうしたらいいか、筆者はどのように構成して、筆者を進めていくだらうか、中では筆者はどのように構成して、筆者を進めていくだらうか。

【第 5 学年 「生き物は円柱形」での which 型の課題提示の板書】

【資料 10 第 4 学年  
「大きな力を出す」のワークシート】